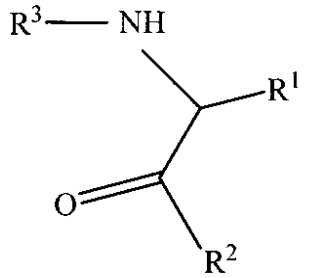
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【公表番号】特表2009-511682(P2009-511682A)
【公表日】平成21年3月19日(2009.3.19)
【年通号数】公開・登録公報2009-011
【出願番号】特願2008-534931(P2008-534931)
【国際特許分類】
Ｃ１１Ｂ　9/00　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ 323/58　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　1/227　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１１Ｂ　9/00　Ｖ
Ｃ０７Ｃ 323/58
Ａ２３Ｌ　1/227　Ｚ
Ｃ１１Ｂ　9/00　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成22年10月8日(2010.10.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
式（Ｉ）
【化１】



Ｉ

式中、残基Ｒ^{1}、Ｒ^{2}およびＲ^{3}は、以下のように選択される：
Ｒ^{1}は、－ＣＨ$_{2}$ＳＸ、－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＳＸおよび－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＳＸからなる群から選択される残基であり、Ｘは、Ｈおよび－ＣＨ$_{3}$から選択される残基であり；
Ｒ^{2}は、－Ｏ－ＣＨ$_{3}$、－Ｏ－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ$_{3}$、－Ｏ－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{3}$、－Ｏ－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{3}$、－Ｏ－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{3}$、－Ｏ－ＣＨ（ＣＨ$_{3}$）ＣＨ$_{3}$、－Ｏ－ＣＨ$_{2}$ＣＨ（ＣＨ$_{3}$）$_{2}$、－Ｏ－ＣＨ$_{2}$ＣＨ（ＣＨ$_{3}$）（ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{3}$）および－Ｏ－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ（ＣＨ$_{3}$）$_{2}$を含む直鎖状または分枝状のＣ$_{1}$～Ｃ$_{5}$アルコキシ残基から選択される残基であり；また
Ｒ^{3}は、Ｈ、およびγ－Ｇｌｕ（－ＣＯ－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ（ＮＨ$_{2}$）－ＣＯＯＨ）、β－Ａｓｐ（－ＣＯ－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ（ＮＨ$_{2}$）－ＣＯＯＨ）、α－Ｇｌｕ（－ＣＯ－ＣＨ（ＮＨ$_{2}$）－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ$_{2}$－ＣＯＯＨ）、α－Ａｓｐ（－ＣＯ－ＣＨ（ＮＨ$_{2}$）－ＣＨ$_{2}$－ＣＯＯＨ）、β－Ａｌａ（－ＣＯ－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ$_{2}$－ＮＨ$_{2}$）、α－Ａｌａ、α－

Ｖａｌ、α－Ｌｅｕ、α－Ｉｌｅ、α－Ｍｅｔ、α－Ｐｒｏ、α－Ｐｈｅ、α－Ｔｒｐ、α－Ｓｅｒ、α－Ｔｈｒ、α－Ａｓｎ、α－Ｇｌｎ、α－Ｔｙｒ、α－Ｃｙｓ、α－Ｌｙｓ、α－Ａｒｇ、α－Ｈｉｓ、α－Ａｓｐ、ガンマアミノ酪酸（ＧＡＢＡ）、および４－ヒドロキシプロリン、ε－Ｎ，Ｎ，Ｎ－トリメチルリシン、３－メチルヒスチジン、５－ヒドロキシリシン、Ｏ－ホスホセリン、ガンマ－カルボキシグルタミン酸塩、ε－Ｎ－アセチルリシン、ω－Ｎ－メチルアルギニン、Ｎ－アセチルセリン、Ｎ，Ｎ，Ｎ－トリメチルアラニン、Ｎ－ホルミルメチオニンを含む稀なアミノ酸からなる群から選択される、ペプチド結合を介して結合するアミノ酸残基の群から選択される残基である、
で表される少なくとも１種の化合物またはこれらの塩の、フレーバーとしての使用。

【請求項２】

R^3が、Ｈ、γ－Ｇｌｕ、β－Ａｓｐ、α－Ｇｌｕ、α－Ａｓｐからなる群から選択される残基である、請求項１に記載の使用。

【請求項３】

R^3が、γ－Ｇｌｕ、β－Ａｓｐの残基からなる群から選択される残基である、請求項１に記載の使用。

【請求項４】

ＸがＨである、請求項１に記載の使用。

【請求項５】

R^1がCH_2SHである、請求項４に記載の使用。

【請求項６】

ＸがCH_3である、請求項１に記載の使用。

【請求項７】

R^1が$CH_2CH_2SCH_3$である、請求項６に記載の使用。

【請求項８】

R^2が、－Ｏ－CH_3、－Ｏ－CH_2－CH_3、－Ｏ－$CH_2CH_2CH_3$、－Ｏ－$CH_2CH_2CH_2CH_3$、－Ｏ－$CH_2CH_2CH_2CH_2CH_3$、－Ｏ－ＣＨ（CH_3）CH_3、－Ｏ－$CH_2CH(CH_3)_2$、－Ｏ－$CH_2CH(CH_3)(CH_2CH_3)$および－Ｏ－$CH_2CH_2CH(CH_3)_2$からなる群から選択される直鎖状または分枝状のC_1～C_5アルコキシ残基から選択される残基である、請求項１に記載の使用。

【請求項９】

R^2が、－Ｏ－CH_3、－Ｏ－CH_2－CH_3、－Ｏ－$CH_2CH_2CH_3$、－Ｏ－ＣＨ（CH_3）CH_3および－Ｏ－$CH_2CH(CH_3)_2$を含む直鎖状または分枝状のC_1～C_4アルコキシ残基である、請求項１に記載の使用。

【請求項１０】

化合物が、Ｃｙｓ－Ｏ－CH_3、Ｃｙｓ－Ｏ－C_2H_5、Ｃｙｓ－Ｏ－C_3H_7、Ｃｙｓ－Ｏ－C_3H_7、Ｍｅｔ－Ｏ－CH_3、Ｍｅｔ－Ｏ－C_2H_5、γ－Ｇｌｕ－Ｃｙｓ－Ｏ－CH_3、γ－Ｇｌｕ－Ｃｙｓ－Ｏ－C_2H_5からなる群から選択される、請求項１に記載の使用。

【請求項１１】

請求項１の式Ｉにおいて定義した化合物であって、ただし、該化合物が、R^1＝CH_2SH、R^2＝OCH_3およびR^3＝Ｈ、Ｃｙｓまたはγ－Ｇｌｕ；R^1＝CH_2SH、R^2＝OCH_2CH_3およびR^3＝Ｈ、Ｃｙｓ、Ａｌａ、Ｇｌｙまたはγ－Ｇｌｕ；R^1＝CH_2SH、R^2＝$OCH_2CH_2CH_3$およびR^3＝Ｈ；R^1＝CH_2SH、R^2＝$OCH_2CH_2CH(CH_3)_2$およびR^3＝Ｈ；R^1＝CH_2SH、R^2＝$OCH_2CH(CH_3)(CH_2CH_3)$およびR^3＝Ｈ；R^1＝CH_2SH、R^2＝$OCH_2CH(CH_3)_2$およびR^3＝Ｈ；R^1＝CH_2SH、R^2＝ＯＣＨ（CH_3）CH_3およびR^3＝Ｈ；R^1＝CH_2SCH_3、R^2＝OCH_3およびR^3＝Ｈ、Ｇｌｙ、Ｐｈｅまたはα－Ａｓｐ；R^1＝CH_2SCH_3、R^2＝OCH_2CH_3およびR^3＝ＨまたはＧｌｙ；R^1＝CH_2CH_2SH、R^2＝OCH_3およびR^3＝Ｈ；R^1＝CH_2CH_2SH、R^2＝OCH_2CH_3およびR^3＝Ｈ；R^1＝CH_2CH_2SH、R^2＝OCH_2CH_2

CH_3およびR^3＝Ｈ；R^1＝CH_2CH_2SH、R^2＝$OCH(CH_3)CH_3$およびR^3＝Ｈ；R^1＝$CH_2CH_2SCH_3$、R^2＝OCH_3およびR^3＝Ｈ、Ｓｅｒ、Ｇｌｙ、Ｐｈｅ、Ｌｅｕ、Ｍｅｔまたはα－Ａｓｐ；R^1＝$CH_2CH_2SCH_3$、R^2＝OCH_2CH_3およびR^3＝Ｈ、Ｍｅｔ、Ｐｈｅまたはβ－Ａｌａ；R^1＝$CH_2CH_2SCH_3$、R^2＝$OCH_2CH_2CH_3$およびR^3＝Ｈ；R^1＝$CH_2CH_2SCH_3$、R^2＝$OCH_2CH(CH_3)_2$およびR^3＝Ｈ；R^1＝$CH_2CH_2SCH_3$、R^2＝$OCH(CH_3)CH_3$およびR^3＝Ｈ；R^1＝$CH_2CH_2SCH_3$、R^2＝$OCH_2CH_2CH(CH_3)_2$およびR^3＝Ｈ；R^1＝$CH_2CH_2CH_2SH$、R^2＝OCH_3およびR^3＝Ｈ；並びにR^1＝$CH_2CH_2CH_2SCH_3$、R^2＝OCH_3およびR^3＝Ｈである化合物からなる群から選択されない、前記化合物。

【請求項１２】

請求項１～１１のいずれかにおいて定義した式Ｉで表される１種もしくは２種以上の化合物またはこれらの混合物を含む、食品または飲料にタマネギフレーバーを付与するためのフレーバー組成物であって、該組成物が香味剤および調味料からなる群から選択される少なくとも１種の賦形剤を含む、前記組成物。

【請求項１３】

請求項１～１１のいずれかにおいて定義した式（Ｉ）で表される１種もしくは２種以上の化合物またはこれらの混合物を、１～２５，０００ｐｐｍ（重量／重量）の濃度で含む、消費財。

【請求項１４】

タマネギフレーバーを消費財に付与する方法であって、請求項１～１１のいずれかにおいて定義した１種または２種以上の化合物を消費財に加えることを含む、前記方法。

【請求項１５】

タマネギフレーバーおよびコク味を消費財に付与する方法であって、請求項１において定義した式Ｉで表され、式中R^3がγ－Ｇｌｕである化合物を消費財に加えることを含む、請求項１４に記載の方法。

【請求項１６】

化合物を、当該化合物が生成された未精製の反応混合物の形態で、植物または発酵からの抽出物の形態で、前述の粗製の抽出物の形態で、または精製された形態で加える、請求項１４または１５に記載の方法。